

令和6年度 第3回 甲賀市環境審議会 議事摘録

開催日時 令和6年(2024年)10月8日(火)
14時00分～15時30分

開催場所 甲賀市役所 第4委員会室

出席議員(敬省略) 8名(欠席なし)

【委員】竺文彦、横田岳人、中島仁史、金子利佳、石山利則、
村田吉美、森脇賢、糸井豊美

事務局(敬省略) 7名

【市民環境部】保井純子、松下泰也
【環境未来都市推進室】相原功志、西野久俊
【生活環境課】方山淳、三鼓明寛、田原正史

コンサル 2名(株式会社オオバ)

傍聴 なし

会議次第
1. 市民憲章唱和
2. あいさつ
3. 審議事項
(1) 第3次甲賀市環境基本計画(案)について
【資料1-1、1-2】
(2) 答申について【資料2】

配布資料
・【資料1-1】第3次甲賀市環境基本計画(案)
・【資料1-2】主な変更箇所
・【資料2】第3次甲賀市環境基本計画の策定について
(答申)(案)

会議内容

1. 市民憲章唱和

2. あいさつ（竺会長、保井部長）

3. 審議事項（会長進行）

- 会長） 審議事項（1）第3次甲賀市環境基本計画（案）について、事務局から説明をお願いします。
- 事務局） （【資料1－1】【資料1－2】について説明）
- 委員） p2-5、表 2-2-1 のタイトルについて、「～月平均値」で止めるのか、「～月平均値の最大月」にするのか検討が必要である。もう一点は、p2-16 の環境に対する重要度のアンケートについて、「ごみの不法投棄がなされていない状況」が「ごみの不法投棄の状況」に置き換わっていないが、修正してこの記述方法なのか。
- 事務局） 表のタイトルについては、精査して表記を改める。アンケートについては、「満足度が低い点」として「不法投棄がなされていない状況」とした場合、誤解を生む可能性があるため表現を改めたが、「需要度が高い点」としては「ごみの不法投棄がなされていない状況」が重要であるという考え方であるためそのまま残した。
- 委員） アンケートの上段と下段で表現が違うことが気になったが、変な誤解が生まれないようなかたちであればよい。
- 委員） p2-9、10 の再生可能エネルギー導入状況は全て太陽光発電になっているが、再生可能エネルギー導入ポテンシャルでは風力発電や水力発電が入っている。どう異なるのか。
- 事務局） p2-9 の再生可能エネルギー導入状況は、現在市内において設置されている設備で発電することができる発電量を指す。p2-10 の再生可能エネルギー導入ポテンシャルは、甲賀市にある利用可能なエネルギーの容量であり、例えば、発電設備を設置すればどれだけ発電できるかを示した量となっている。わかりにくいと思うので、再生可能エネルギー導入ポテンシャルの注釈を付けたい。
- 委員） p3-4 の森林の部分（森林・農地・里山の目標指標）でCO₂がどれだけ減ったかを記載する方が良いのではないか。
- 事務局） 森林は木々の成長に伴い数年をかけてCO₂を吸収していくので、切った木を植え替えて5年間でどれだけ吸収されたかということを示すことが難しい状況である。
- 委員） 基本方針1の「豊かな自然と共に快適に生活できるまち」の森林の保全と活用という部分に関する目標指標と理解しているので、全て温暖化対策に結びつけてしまうと他の環境要素が希薄になってしまう懸念があるので、あえて温暖化対策側に結びつける必要はないのではないか。
- 会長） 先頭の頁から1頁ずつ確認を行うので、気になるところがあれば、ご発言いただきたい。

- 委員〉 p1-3 の表 1-4-1 の中の生活環境の対象範囲に「交通」が入っている点が環境因子のレベルなのではないかと思った。この概念からいくと住宅なども入ってしまうと思う。
- 事務局〉 「交通」を消去する方向で考える。
- 委員〉 p2-4 の図中で、大阪等との距離感がわかるようにしてはどうか。
- 委員〉 縮尺と方位を入れるべきである。
- 事務局〉 縮尺と方位を追記する。
- 委員〉 p2-5 文章中の降水量の「mm」が途中で改行している。単位は途中で改行しない方が良いので工夫していただきたい。
- 委員〉 p2-7 図 2-2-4 のグラフで比率の少ない項目をどこまで載せるかという問題はあるが、「その他」でまとめてしまっても良いのでは。
- 事務局〉 左右のグラフの色は対応している。どこまで個別表示にしてどこからその他としていくかを調整したい。
- 委員〉 保安林は山林にカテゴライズされるのではないか。環境という視点で見ると山林として寄与しているのではと思う。
- 事務局〉 出典元は県の統計であり、確認したが、そこまで細かな分類はされていない。土地利用の区分なので税情報が元になっていて、非課税の部分がその他になっている。保安林は非課税となっており、利活用という点では森林と区別すべきと考えこのような分け方になっている。他の統計などを調べ、対応できるものがあれば変更する。
- 委員〉 p2-10 の自動車保有台数について、長期的にみると増加傾向ではあるが、直近でみると減少傾向にあることから、どの程度のスパンで増減しているのかを決める必要がある。傾向の違いによって今後の施策も変わってくる。
- 事務局〉 傾向は記載せずに事実だけを記載する。
- 会長〉 「原付自動車」は正しいのか。
- 事務局〉 誤りと思われる。出典元を確認し改める。
- 委員〉 p3-4 の「②生ごみたい肥化循環システムの世帯数」と「③クールチョイスの認知度」の指標は目標に達しなかったが、③に関しては「認知度は向上した」とポジティブな記述があるのに対し、②の指標は「目標に達しなかった」とネガティブな記述しかない。目標には達していないが、参加世帯が増加したことについては評価するような記述を行っても良いのではないか。
- 事務局〉 修正する。
- 委員〉 p4-1 下部の (3) のキーワードに「公共交通」が入っているが、これも p1-3 と同様に削除してはどうか。
- 事務局〉 p5-6 の (2) ③に環境に配慮した交通の促進という施策が記載されているので、「公共交通」のキーワードは記載したいと思っている。
- 委員〉 p4-1 の国のキーワードがカタカナばかりでわかりにくい。
- 事務局〉 カタカナと漢字と併記している。例えばサーキュラーエコノミーは循環経済と表現している。市の判断で国の語句などを置き換えるのではなく、説明の部分で補う方向で考えたい。
- 委員〉 p5-4 の⑤「自然災害に対する防災・減災の観点を含め」とは、具体的にどういうことか。

- 事務局〉 例えば、建物等を立てる際に山を切り開いて自然災害を呼び込むことがある。最初は「自然災害に対する」という記述がなく、分かりにくいということで、自然災害という限定的な記述にした。
- 委員〉 p5-4の②有害鳥類になっているので、有害鳥獣に修正していただきたい。
- 事務局〉 修正する。
- 委員〉 p5-5の「①エネルギーの地産地消」と「②地域生産物の地産地消」はあえて使い分けているのか。
- 事務局〉 「地産地消」で統一する。
- 委員〉 ごみの適正処理について、甲賀市では単純焼却なのでバイオマス発電など様々な可能性について考えるべきなのではないか。
- 事務局〉 ごみ処理は一部組合方式で行っている。今年度、2千万円ほどかけて施設のあり方検討を行っており、甲賀市としてはバイオマス発電やそのような仕組みをしてくれないかという働きかけを行っている。
- 委員〉 p6-1の関係団体はどのような団体がいるのか。環境系か、商工系か。
- 事務局〉 環境系も商工系も含め、他に記載のある市民、事業者、自治振興会、区・自治会に分類されない様々な団体としている。
- 委員〉 P D C AサイクルのC（チェック）の部分に数値目標があまりない。できるものは数値目標を立てておく最終的に評価をしやすくなる。数字を意識した進め方が良いのでは。
- 事務局〉 各施策単位で数値による進捗管理を行い、その結果を来年度の審議会で報告したいと思っている。
- 会長〉 それでは、全項目について確認していただいたため、審議事項（2）答申について、事務局から説明をお願いします。
- 事務局〉 （【資料2】について説明）
- 事務局〉 答申については、今回いただいたご意見をもとに修正等を行った計画案と併せ、10月11日に会長と職務代理者から市長に答申を行っていただく予定をしている。
- 会長〉 今日出てきた修正案等を検討し、最終的なチェックは私が行い、できたものを配付するという形をとりたい。
- 事務局〉 次回の審議会については、12月にパブリック・コメントを行い、その意見を受けて修正等を行った後に審議会の皆様にご報告したい。

4. あいさつ（職務代理者）

時間はタイトだったと思うが、皆様のおかげで第3次甲賀市環境基本計画（案）が整い、答申できる段階になった。今回は生物多様性と地球温暖化対策、循環経済などの言葉が出てきたが、将来の人類の生活に関わる非常に大切な課題であるので、様々な立場で自分事として捉え、取り組んでいかなければいけないと思う。